



感染予防対策のため緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が取られる中、学校では2学期が始まりました。若者や子どもにも感染する感染力の強いデルタ株のウイルスが流行し、高岡市内にも感染者が発生しています。これまでよりさらに厳重な注意が必要です。

部活動はしばらく停止ですが、生徒全員にタブレットが配布され、希望者にはリモート授業を選択することができるなど、学ぶことを継続できるような環境が整いつつあります。

また、教職員をはじめスクールサポートスタッフが、トイレや洗面所、各教室、特別教室の共用部分のアルコール消毒や手指消毒液の補充を毎日行っています。マスクを忘れたり、マスクが破れたりした際に対応できるように、生徒玄関に不織布マスクを常時準備しています。

今のところ登校している生徒は全員「登校前の検温」「マスクの着用」「手洗いや手指消毒」「換気」の実施をきちんと守っています。



本校生徒及びご家族の感染予防への意識が高いことを誇りに思います。

2学期も、体調を十分に整え、感染症に十分注意しながら充実した学校生活を過ごせることを願っています。

もう一度確認！ 感染予防対策 その1

<マスクの予防効果>

マスクはなぜ必要なの？・・・

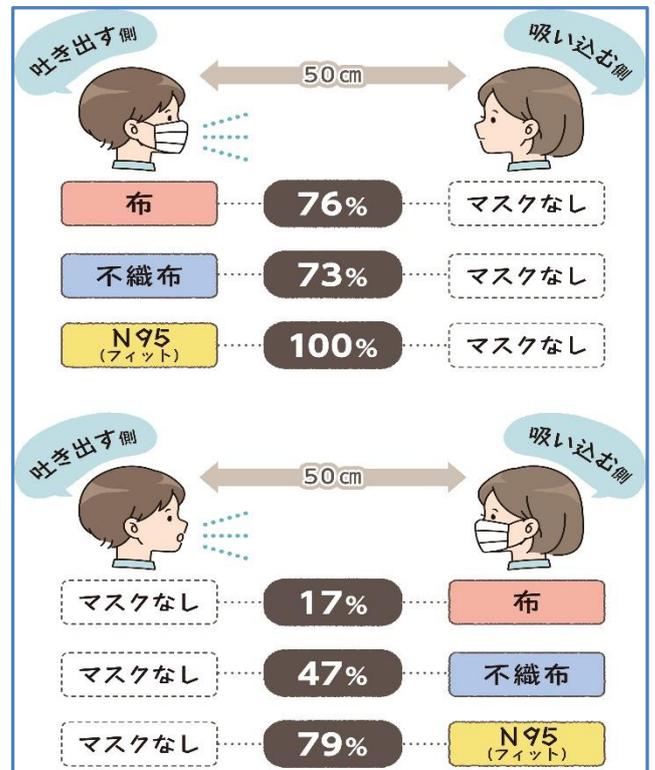


ウイルスは、感染者の飛まつやマイクロ飛まつが感染していない人の口や鼻から体内に入ることによって感染します。右図の通り、飛まつを吐き出す側（感染者）がマスクをすると、高い確率で飛まつを拡散を予防することができます。吸い込む側（感染していない側）と双方がマスクをすることによって、さらに予防効果が高くなり、マスクをしていたかどうかは感染者が出た場合の濃厚接触者を特定する基準となっています。

県内で感染が広まっている今、マスクの材質は、「布」やウレタンよりも「不織布」の方がより望ましいと思われます。

N95は医療用なので一般の人にはなかなか手に入りません。可能であれば、登校時、不織布マスクを着けてくるようにしましょう。

また、下記のように正しくマスクを着けましょう。



<マスクの着け方>



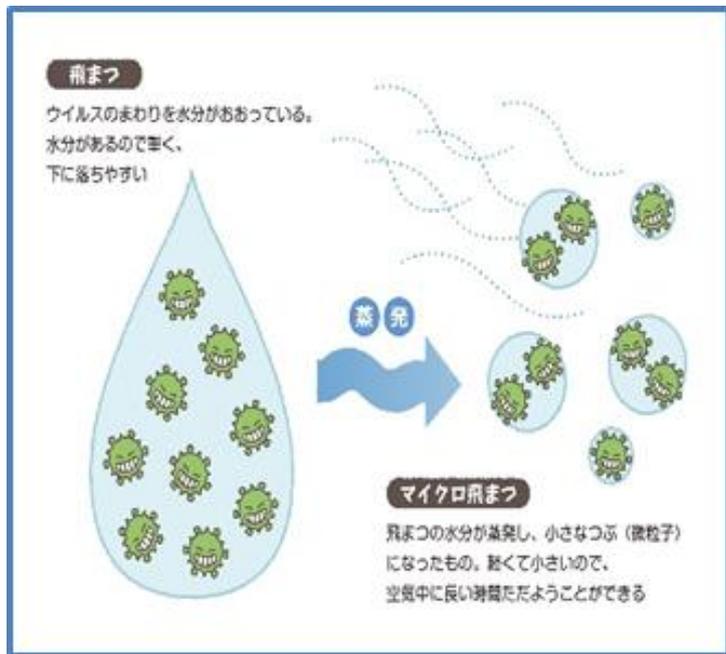
もう一度確認！ 感染予防対策 その2



換気はなぜ必要なの？・・・

咳やくしゃみをする時、唾液の飛まつが無数に空気中に放出します。また、それらは目に見えないマイクロ飛まつとなって空気中をしばらく漂い続けます。

咳やくしゃみだけでなく会話や歌を歌うことでも飛まつは発生します。感染者の飛まつの中にはウイルスがいますので、密閉した空間では、多くのウイルスが漂い続け、人から人へと感染が広まってしまいます。



換気をして空気の流れを作ると、空気中を漂っていたウイルスが外に出て行きます。今は、暑いので教室にエアコンが入っていますが、常に少し窓を開け、マスクを外す給食の前後には、必ず教室の窓を開けるようにしましょう。対面する二カ所を開けると、より効果的に換気ができます。



災害は忘れた頃にやってくる



家の中の対策は？ ▶▶▶ 大きな家具や家電の固定、
備蓄用品の確認

家にいるときに
災害が起こったら？ ▶▶▶ 役割分担、非常持ち出しバッグ
の確認

別々の場所にいるとき
に災害が起こったら？ ▶▶▶ 連絡方法や集合場所の確認

いざというときのために、家族で話し合っておきましょう

避難指示発令！

どう行動する？



2021年5月、大雨などの災害時に出される避難情報に変更されました。全部で5段階ある警戒レベルのうち、レベル4が出た場合は「必ず避難」となりましたが…では、対象地域の全員が緊急避難場所へ移動しなければいけないのでしょうか？

ポイントは「難」を「避」けること。安全な場所に住んでいる親戚の家に行くことも避難です。

川が決壊した場合などに備え、自分の家は浸水や土砂災害の可能性があるので、避難場所までの道のりに危険はないかなどをハザードマップでチェックし、命を守るための最善策を確認しておくことも重要です。

災害時、正しく情報を収集し、自分や家族を守る行動ができるよう、日頃から話し合っておくことも大切ですよ。

